

「海辺の遠足」



国立江田島青少年交流の家

海辺の遠足

◆概要

砂浜の造形づくりやビーチコーミング等の自由遊びを楽しむ。
(幼児向けプログラムですが、それ以外の団体も実施可能です。)

◆ねらい

○海辺での活動を通して江田島の海に対して親しみを深める。

◆指導者、人数など

対象	幼児から
指導	各団体
人数	50名程度まで
1グループ	5名程度
実施時間	1～3時間
実施場所	水泳場の砂浜
実施時期	通年

※幼稚園、保育園、こども園等が実施する場合は、交流の家職員が活動の支援をすることができます。予めご相談ください。

◆服装

汚れたり濡れたりしてもよい服装、運動靴または長靴（サンダル不可）、帽子

◆団体の準備物

軍手（幼児の場合、貸出あり）水筒、敷物、タオル、着替え、ビニール袋（収集用）

◆交流の家の貸出物

幼児の場合：ライフジャケット、軍手
幼児以外の場合：砂遊びセット、救急セット



◆安全管理と注意事項

- ・指導者は、実施前までに、人数・配置・役割分担を確認しておく。
- ・鋭利な貝殻やガラス等によるケガに注意する。
- ・干満による潮位の変化に注意する。
- ・適時、日陰で休憩し水分補給する。

「海辺の遠足」

◆展開

所要時間	内容	指導者の働きかけ	留意点
	事前確認	○服装（帽子、長靴）の確認をする。 ○トイレを済ませる。	○指導者は事前に危険な漂着物がないか確認しておく。
10分	説明	○活動の説明 ○セーフティトーク（3つの約束） ・グループで行動する（ひとりで行動しない） ・歩く（走らない） ・服を濡らさない	○子供達が集中できるように指導者は、子供たちの視界に海が入らない位置に立つ。 ○簡潔に説明する。 ○セーフティトークは理由を合わせて話すように心がける。 ○鋭利な貝殻やガラス片等実物を見せながら説明する。
10分	準備	○ライフジャケットの装着（幼児の場合） ○軍手の装着 ・見本として指導者が実際に装着する。 ・自分でできることは自分でさせる。	○適切に装着しているか確認する。 ○安全意識を高めるため、最後に3つの約束を再び確認してから、活動を開始する。
40分	浜辺遊び（前半）	・砂遊び道具を貸し出す。 ・6人程度のグループで活動する。 ・指導者は安全面に目を配りつつ、自由な遊びの流れを尊重する。 ・遊びのバリエーションのヒントとなるように、指導者も一緒に遊ぶ。	○波打ち際で遊ぶ際は濡れないように声をかける。 ○天候や子供の体調を考慮して、必要に応じて活動時間を短縮する。
適時	休憩	・道具が波にさらわれない場所に集める。 ・指導者は、前半の活動の感想や後半の活動でしたいこと等を話題に上げる。 ・天候や子供たちの様子によっては、絵本の読み聞かせをする。	○風でゴミが飛ばされないように注意する。
40分	浜辺遊び（後半）	・前半の活動の続きをする。 ・干満差によって砂浜が変化することに気づかせる。	○慣れてくると、行動範囲が広がり、遊び方が大胆になってくるので、その特性を理解し、必要に応じて指導者の配置を変える。
10分	片付け	○道具を洗う。 ○自分で使った物は自分で片付ける。 ○ライフジャケットを脱ぐ。 ○軍手を外す。 ○必要に応じて着替えをする。	
10分	おわりの会	○インタビュー ・何をして遊んだか？ ・感想を尋ねる。	○他の子供にもよく聞こえるように、指導者は子供が答えたことをオウム返しして紹介する。

◆連絡先

	一般電話番号	緊急通報用電話番号
江田島消防署（救急係）	TEL (0823) 40-0358	119
江田島警察署	TEL (0823) 42-0110	110
第六管区海上保安本部	TEL (082) 251-5111	118
国立江田島青少年交流の家	TEL (0823) 42-0660 (0823) 42-0661	